

第 6 回日野市教育委員会指定管理者候補者選定委員会議事要点録	
日時	平成 20 年 9 月 10 日（水）午前 9 時～午前 11 時 30 分
場所	市役所 4 階 庁議室
出席者	佐藤委員長、鈴木委員、鶴岡委員 小川総務部長、高橋企画部長、栗原教育部長、佐野教育部参事
議題	1. 審議報告書の確認 （1）総括について ①選定方法、審議全体意見について 各委員の意見交換、検討 （2）各施設報告書案の確認 ①各施設案の説明（事務局） 日野市民プール、日野市立グラウンド等、日野市立八ヶ岳高原大成荘、日野市立とよだ市民ギャラリー、日野市民会館・七生公会堂及び日野市立七生福祉センター ・選定ポイント ・評価点の一覧 ・選定結果 ・選定理由 ・要望事項 ・意見交換 ・本日の流れの説明（事務局）
議題 1	1. 審議報告書の確認 （1）総括について ・指定管理者候補者選定委員会から教育委員会へ厳正なる審議結果の報告であるため「指定管理者候補者選定までの経過、選定基準、選定方法、選定の結果、審議全体の総括、選定委員名簿」の順で構成する。 具体的には、 ①指定管理者候補者選定までの経過 ア. 選定を行う施設一覧 イ. 候補者の募集 ウ. 応募状況 エ. 選定委員会の設置及び開催経過 ②選定基準 ③選定方法 ④選定の結果

	⑤審議全体の総括 6. 選定委員名簿 とする。 (2) 各施設報告書案の確認 「審議全体の総括」については、「協定の締結にあたって」と「指定管理者の選定のしくみについて」に分け、付帯意見を付記する。 具体的には、 (協定の締結にあたって) ・指定管理者制度を導入した所期の目的、効果が発揮されるように、指定管理者による管理・運営状況を定期的にチェックしていただきたい。 ・施設の有効活用を一層増進するため、施設利用者市民などの声を聴きながら、指定管理者による自主事業等の督励を図っていただきたい。 ・管理基準仕様書に加え、住民サービスにつながる提案項目及び選定にあたっての要望事項を織り込んで指定管理者と協定締結をしていただきたい。 (指定管理者の選定のしくみについて) ・市民委員を加えて総合的な事業評価を実施し、常に管理・運営についてチェックすると共に、その後の指定管理者選定に反映していただきたい。 ・本制度が今後さらに有効運営されるようにしていただきたい。そのために、指定管理者候補者選定にあたり、募集要項や採点表の様式等を見直し、改善を加えていただきたい。 ※提案事項と採点表との突合、事業計画書、収支計画書、要員配置計画書の様式統一及びページ数の制限(上限)を設けるなど ※採点基準の表現の見直し、落第点の扱い、相対比較のルール決めなど ①各施設案の説明(事務局) 施設名：日野市民プール (1) 選定のポイント ・施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。 ・安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。 ・同種の施設管理運営実績があるか。 ・防災・防犯および非常災害時の危機管理対応は適切であるか。 (2) 応募団体名 ・シンコースポーツ株式会社 ・株式会社日野市企業公社 (3) 採点表 ・8名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。
--	--

	(4) 選定結果 ・指定管理者候補者 シンコースポーツ株式会社 (5) 指定期間 ・平成 21 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで (6) 総評 ●選定理由 ・プールに関して専門的知識と豊富なノウハウを有している。また全ての項目において安定した公共のサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。 ●協定締結にあたっての要望事項 ・マルチジョブシステムについて効率的に運営することは良いことであるが、監視員に負担がかかりすぎて本来業務であるプール遊泳の監視が手薄になるようなことがないように十分留意すること。 ・監視員については必ず普通救命技能を取得し、受講しただけではなく、緊急時に適切に対処できる実践能力を身につけさせること。 ・駒形の渡しについて、利用の際には急な川の増水等天候に関する対処について十分検討し対応策を構築すること。 ・利用者の増加に向け、主要な駅からの送迎や夏場以外の遊休期間の活用方法を考慮し、更なる市民サービスの向上を図ること。 施設名：日野市立グラウンド等（11施設一括） (1) 選定のポイント ・地域、関係機関、ボランティア等との連携がはかられているか。 ・施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。 ・防災・防犯及び非常災害時の危機管理は適切であるか。 (2) 応募団体名 ・日野市建物管理協同組合 ・テルウェル東日本株式会社 ・株式会社日野市企業公社 (3) 採点表 ・8名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。 (4) 選定結果 ・指定管理者候補者 テルウェル東日本株式会社 (5) 指定期間 ・平成 21 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで (6) 総評
--	--

	●選定理由 ・施設の利用率を向上させるための具体的提案がなされ、また類似施設の管理運営に実績もあり、安定した企業力により施設運営能力があると判断し、上記候補者を選定した。 ●協定締結にあたっての要望事項 ・降雨等の際はグラウンドの復旧、整備を迅速にいただき、スポーツ大会等市民利用がスムーズに行われるよう、十分管理すること。 ・グラウンド等の整備に協力している地域の自治会・ボランティア・利用者団体との良好なコミュニケーションを保持し、連携をしながら維持管理に努めること。 ・シルバー人材センターを活用し高齢者の雇用の安定を図ること。 施設名：日野市立八ヶ岳高原大成荘 (1) 選定のポイント ・施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。(林間施設・保養施設として) ・市が期待する目標利用者数や市の負担する経費削減額をクリアしているか。 ・安定したサービスを提供するための企業能力があり、職員体制、職員研修ができるか。 (2) 応募団体名 ・株式会社フードサービスシンワ ・株式会社レパスト ・株式会社萬惣食品 ・株式会社日野市企業公社 (3) 採点表 ・8名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。 ・本施設については、株式会社日野市企業公社に対して、指定管理者導入施設検査・評価調書による評価結果(評価点 71.3 点)に基づき、15 点×8 名=120 点の付加点を加算する。 (4) 選定結果 ・指定管理者候補者 株式会社日野市企業公社 (5) 指定期間 ・平成 21 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで (6) 総評 ●選定理由 ・平成 4 年度より施設の管理運営を行っており、民間の活力が最大限発揮さ
--	--

れている。施設の特徴を十分に活かしたサービスも提供され、市民の満足度も高い施設となっている。安定した公共のサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

●協定締結にあたっての要望事項

- ・利用者アンケート等を定期的に実施し、利用者ニーズを的確に把握し、応えられるよう対応すること。
- ・社員には接客研修を実施し、快適に宿泊していただけるよう徹底すること。
- ・土産コーナーの充実、工夫を図り、夕食後のレクリエーション事業や、2階ラウンジの有効活用を図ること。
- ・緊急時の避難誘導や防犯、防災、また急病人の適切な対応について徹底すること。
- ・駅（小淵沢、清里）からの送迎等を実現し、利用者増加を図ること。
- ・高齢者、障害者に対する対応をさらに検討すること。
- ・周辺施設との連携を図り、宿泊者への観光情報の提供等充実すること。
- ・学校教育及び社会教育活動の場、市民の憩いの場として大切な施設であるので、委託業者との連携を密にし、今まで以上のサービスを提供できるよう、指導を行うこと。

施設名：日野市立とよだ市民ギャラリー

(1) 選定のポイント

- ・施設の特徴を生かしたサービスが提案されているか。
- ・施設の利用率を向上させるための具体的な提案がなされているか。
- ・防災対策及び非常災害時の対応策は適切か。日常的な安全管理が十分に考えられているか。

(2) 応募団体名

- ・テルウェル東日本株式会社
- ・株式会社日野市企業公社

(3) 採点表

- ・8名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。
- ・本施設については、株式会社日野市企業公社に対して、指定管理者導入施設検査・評価調書による評価結果（評価点 69.4 点）に基づき、10 点×8 名=80 点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

- ・指定管理者候補者 株式会社日野市企業公社

(5) 指定期間

- ・平成 21 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

	(6) 総評 ●選定理由 ・平成10年度より施設の管理運営を行っており、民間のノウハウを導入した施設となっている。施設の特性を十分に活かしたサービスが提供されており、市民の満足度も高い施設となっている。安定した公共のサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。 ●協定締結にあたっての要望事項 ・マンションの共有部分という問題もあると思うが、入口の看板を一層工夫し、また、駅からギャラリーまでの案内板等を駅前に設置し、入場者の増加を図ること。 ・ギャラリーの周知をし、利用者の増加のための方策を検討すること。 ・利用者へカギを引き渡すだけでなく、定期的に巡回し、どう使用しているか内容を把握し、安全の確認などを行うこと。 ・受付業務を、市民会館・七生公会堂でも行えるよう利便性を追及すること。 施設名：日野市民会館・七生公会堂及び日野市立七生福祉センター (1) 選定のポイント ・施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。 ・施設の目的を効果的かつ効率的に達成できるものになっているか。 ・安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。 (2) 応募団体名（非公募） ・株式会社日野市企業公社 (3) 採点表 ・8名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。 ・本施設については、株式会社日野市企業公社に対して、指定管理者導入施設検査・評価調書による評価結果（評価点 69.8 点）に基づき、10 点×8 名=80 点の付加点を加算する。 (4) 選定結果 ・指定管理者候補者 株式会社日野市企業公社 (5) 指定期間 ・平成 21 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで (6) 総評 ●選定理由 ・市の文化振興の拠点であり、「藝術文化の薫るまち」を目指す上で市と連携した事業展開を必要とする本施設の管理運営について十分な経験があり、施設の特性を活かし安定した公共のサービスの提供が可能であると判断し、上
--	--

	記候補者を選定した。 ●協定締結にあたっての要望事項 ・非公募であることに甘んじる事なく企業努力をすること。 ・市が掲げる「藝術文化の薫るまち」を目指すために、市民参加で行われている懇談会などの意見を活かし、利用率を上げる。そのために、魅力ある企画を実現するなど、会館の活性化に向けて取り組むこと。 ・市民の望むものを提供する意味でも、市民を含めた企画委員会を実現しボランティアの力を借りて活性化に取り組むこと。 ・単なる貸し館機能だけではなく、藝術文化を促進し、集客効果のための自主事業を積極的に行うこと。 ・民間企業として、末端従業員まで接客研修を実施し、会館のノウハウを持った社員育成教育を徹底的に行うこと。 ・市民にあまり知られていないリハーサル室、和室、展示室等をもっと宣伝し、料金を下げてでも利用率を上げることを市とともに検討すること。 ・ホール以外の部屋の活動について、活気ある施設活用を図るための方策を、常に会館職員で提案を出し合い実現に向けて努力すること。 ・高齢者、障害者などの利用者が、階段やトイレの利用に不便を感じているため、エレベーターへの案内、トイレへの案内や声かけなど適切な配慮を行うこと。 ・七生公会堂については、看板等を工夫し、外観面などからも印象的な施設にすること。 ・設備等定期的に点検を実施し、事故のないようにすること。 ・緊急時の避難誘導や、防犯、防災、また急病人の適切な対応について、人員配置を含め徹底すること。 ●本日で教育委員会関係の施設の指定管理者候補者選定委員会については、終了といたします。 次回は、市長部局の日程は、9月22日（月）1時から庁議室
--	---